

令和7年度

令和8年1月31日



立田小だより

八王子市立立田小学校長 平田 英一郎
(ホームページ) <https://hachioji-school.ed.jp/kngde/>

～春への準備～

副校長 足立 顯史

令和8年になり、早くも1ヶ月が終わります。

3学期は、期間の短い学期ですが、様々な行事等があり、忙しい日々が続いています。また、寒い日も続き、市内でもインフルエンザ等で学級閉鎖になっている学校が増えています。インフルエンザ等にかかるないよう、うがい・手洗い等心がけて、健康な日々を過ごしてほしいと願っています。

さて、2月4日は「立春」です。暦の上では春の始まりとされる日ですが、実際にはまだ寒さが厳しい頃です。それでも日差しの中には、少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。

その「立春」の前日にあたる2月3日は「節分」です。「節分」は、もともと季節の変わり目を意味し、特に「立春」の前日にあたるこの日には、豆まきをして邪気を払い、一年の無病息災を願う風習があります。「鬼は外、福は内」というかけ声とともに豆をまくという伝統的な行事には、目には見えない「悪いもの（鬼）」を追い出し、家庭や社会に「よいもの（福）」を招き入れようとする、昔の人の知恵と願いが込められています。「これから始まる新しい一年が、不幸や災いが無い一年になりますように」との願いを込めて、自分の中にいる悪い鬼だけをしっかりと追い出し、今年一年、健康に気を付けてほしいと思います。先日、子どもたちに「自分の中の追い出したい鬼って何だろう？」と尋ねてみました。すると「すぐにあきらめてしまう鬼」や「イライラしてしまう鬼」などの答えが返ってきました。子どもたちにとっては、その質問自体が自分自身と向き合うよい機会となっているのでしょうか。ご家庭でも、ぜひ「節分」の行事を通して、お子さんと一緒に季節の行事の意味を考えたり、自分自身を振り返ったりする時間をもってみてはいかがでしょうか。

子どもたちは、寒さの中でも元気に学校生活を送りながら、1年間のまとめに向けてそれぞれの学びに一生懸命取り組んでいます。季節の節目にあたる「節分」は、新たな気持ちでスタートを切るよい機会でもあります。引き続き子どもたちが学び合い、高め合っていけるよう、教職員一同で頑張っていきます。ご家庭でもご協力をよろしくお願ひいたします。



小中一貫教育の取組

小中一貫教育担当 岩田 紘和

柵田小学校では、横山第一小学校、緑が丘小学校、柵田中学校と連携して、小中一貫教育を行っています。 「地域の一員として、確かな学力と正しい規範意識をもち、心身共に健康で、自ら課題に取り組み、学ぶ意欲をもった人間の育成を目指す」ことを4校合同の目標にして活動を進めています。

今年度は、

- ・4校合同あいさつ週間
- ・中学生職場体験
- ・教員による授業参観
- ・小中合同質問教室
- ・ふれあい標語づくり
- ・地域清掃(青少対)
- ・4校家庭学習重点週間の取組
- ・中学生による行事お手伝い
- ・柵田地区交流音楽会(第5学年)※オンラインでの実施

などの活動が実施されました。

これからも、子どもたちのよりよい成長に向けて、小、中学校が連携してよりよい教育を行っていきます。

2月行事予定

(数字) : 該当学年
SC : スクールカウンセラー勤務日
放 : 放課後子ども教室開催日 (3月~9月) : 午後5時まで